

## 子どもの本と大人

### 本(1)

物語を読むことはたのしい。物語は出会いだからだ。物語のなかで未知の人に出会う。読んでゆくうちに、その未知の人がいつのまにか、よく知った身近な仲間のように、もう一人のじぶんのようにおもえてくる。見知らぬ土地、見知らぬ風景が親しくちかよってきて、じぶんがいま、そこを横切っているのだという感覚が、あざやかに、はっきりとかんじられる。じぶんが明るくされるような物語を読むことは、たのしい。

物語は、きみの見知らぬ友人がそこにいる場所だ。物語を読んで、あたらしい友人に出会い、あたらしい経験に出会う。そうして、物語の時間、物語の世界をとおりぬけて、あたらしい友人とともに、じぶんのいま、この場所にでてくる。そんなふうに、じぶんとじぶんの場所をあたらしく活々(いきいき)と感受できる物語を、きみは読みたいのだ。きみのじぶんの時間をつくりだすこと。こたえを探してもはじまらない。問いをみつめることから始めるのだ。

『元気がでる詩』(理論社)より

詩人・長田弘氏の著作から「子どもの本」に関するものを紹介します。彼の詩は小学6年生に向けた『元気がでる詩』(理論社)のほか、中学3年生の国語教科書に「世界は一冊の本」(光村)「最初の質問」(学図)が掲載されています。ご覧になった方もあるでしょう。詩の中の言葉に励まされ、勇気付けられることも多くあるのですが、長田氏は詩だけでなく絵本も書かれていますし、絵本・児童文学作品の翻訳などを数多くされています。彼は『読書からはじまる』(NHK出版)の中で、子どもの本について、次のように述べています。

...むしろ、今は大人たちがすすんで読んだほうがいい本として、子どもの本が挙げられてしかるべきなのです。そこには今、大人たちが自分のうちに見失っている言葉があるだろうからです。

子どもの本というのは、子どものための本なのではありません。**大人になっていくために必要な本のことだというのが、わたしの考えです。**そうした本であるべき子どもの本にとってもっとのぞまれるべき読者がいるとすれば、それは大人であり、子どもの本を読むことによって、それまでは自分でも気づかなかったけれども、ふりかえって今、子どもたちに伝えたいものが何かを、とくにそうと意識しなくても、大人たちはきっと自分で、自分のなかに確かめられるようになる。そう思えるからです。

このように述べられるのは、人としてのありようを次のように考えているからでしょう。

...ひとは子どもから大人になるのではありません。子どもとしてのじぶんをそこにおいて、ひとは大人というもう一人のじぶんになってゆきます。そこにというのはじぶんのなかにです。子どもとしてのじぶんを見つめながら、ひとは大人というもう一人のじぶんになる。ですから、大人のじぶんのなかには、じぶんがずっと見つめてきた子どものじぶんがいます。あるいは、大人のじぶんをずっと見つめている子どものじぶんがいます。(『子どもたちの日本』長田弘著 講談社)

子どもが本を読むことだけでなく、大人が子どもの本を読むことこそ望まれるという長田氏の言葉を大事にしたいものです。読み継がれてきた「子どもの本」には、物語る力(生きる力を育むものと言っていいかもしれません。)があり、私たちはそれを子どもたちに手渡したいのですから。

“子どもと本を結ぶ”あるいは“つなぐ活動”は、追い風の中、メディアでも大きく取り上げられることが多くなりました。しかし、活動そのものばかりが取り上げられることも少なくありません。原点に立ち返り、「子どもと本とを結ぶことの意味」「なぜ、子どもたちに本を手渡すのか」を確認することは大事なことです。

研究室で所蔵する長田氏の翻訳子ども図書資料は次のとおりです。

- ・『はしれ! ショウガパンうさぎ』ランダル・ジャレル著  
岩波書店
- ・『世界をみにいこう』マイケル・フォアマン作/絵  
フレーベル館
- ・『地球というすてきな星』ジョン・バーニンガム作  
ほるぷ出版
- ・『みんなのすきな学校』ジャック・クリチ文 ルー・ブリ絵  
講談社
- ・『そらとぶいぬ』テッド・ヒューズ文 デビッド・ル加絵  
メディアファクトリー
- ・『ハーメルンの笛ふき男』  
トブ・ラウング作 ジョー・デボアソ絵  
童話館出版

### イベント・講座情報

#### 読み語り講座

日時: 平成17年2月10日(木) 10:00~12:00

講師: 中村宏 氏

(静岡県点字図書館講師、静岡市立図書館講師)

会場: 沼津市立図書館

問合わせ: 沼津市立図書館 055-952-1234

#### 原書で味わう名作絵本の世界

期間: 平成17年1月19日(水)~3月13日(日)

会場: 静岡市立清水中央図書館

問合わせ: 静岡市立清水中央図書館 0543-54-1331